



所在地 大崎市・登米市・栗原市／ラムサール条約2005年11月登録

マガン、オオヒシクイの越冬地として全国でも最大級の飛来数を誇り、遊水地として自然環境が残されてきました。ガンカモ類のえさ場となる周辺水田と沼を一体とした湿地の登録が特徴です。周辺水田では、「ふゆみすたんぼ」（冬の田んぼに水を張り、渡り鳥との共生を目指す農法）の取組が行われており、湿地環境としての重要性が認められています。



バタ崎さん (©2013大崎市 #329)



オオヒシクイ (11月～2月)



イタチ (通年)



チュウヒ (10月～2月)



ミズアオイ (8月中旬～9月初旬)

無栗沼観察マナー

- トイレは沼に来る前に
観察施設や常設トイレはありません。トイレは事前に済ませてください。
- 車両の乗り入れ制限について
沼の中心部は、車両通行止めになっています。また、駐車場までの道は狭く、大型バスは入れません。
- 飛び立ちの観察
マガンの飛び立ちは、日の出の20分ぐらい前にピークを迎えます。真っ暗なので運転や歩行には十分ご注意ください。前日に道路を確認しておくことをお勧めします。
- ねぐら入りの観察
マガンのねぐら入りは、日没後20分ぐらいにピークを迎えます。帰りは真っ暗になるので、完全に暗くなる前に車に戻れるよう、観察場所を出発することをお勧めします。

周辺の宿泊、休憩施設

公園の中の宿「ロマン館」

所在地：宮城県大崎市田尻小塩字ハツ沢1
TEL：0229-39-2424
利用料は、お問合せください。

加護坊温泉「さくらの湯」

所在地：宮城県大崎市田尻小塩字ハツ沢37-1
TEL：0229-39-3388
営業時間：午前10時～午後10時
休館日：毎月第二火曜日
利用料は、お問合せください。